



## 多文化社会の政策と現実 在日コリアンがみたアメリカのいま

グローバル化が進むなかで、多様な人々が、それぞれの文化や伝統、価値観を尊重した社会の構築が求められる反面、「異なる存在」への非寛容な雰囲気が醸成されています。日本におけるヘイトスピーチやヨーロッパにおける移民や難民の排斥の動きは、その一例といえるでしょう。「多民族社会アメリカ」でも、大統領選挙の予備選においてイスラム教徒や移民への排斥を声高に叫ぶ候補が大きな支持を集めている現状があります。一方、長年にわたり民族や文化、宗教などさまざまな面における多様性を尊重した政策が作られたり、取り組みが行われていることも事実です。大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野では、こうした動きを3週間にわたり、IVLPというアメリカ国務省の招聘プログラムを通じて調査してきた在日コリアンから報告を受ける機会を設けました。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。

- ★日 時 2016年4月20日(水)  
午後6時30分から9時
- ★場 所 大阪市立大学大学院  
梅田サテライト108教室  
大阪駅前第2ビル6階 JR北新地駅真上
- ★報告者 金光敏(キムクワンミン)  
コリアNGOセンター 事務局長
- ★司 会 柏木 宏  
大阪市立大学大学院 教授
- ★参 加 無料      ★予 約 不要
- ★協力 NPO法人コリアNGOセンター

### IVLPとは？

アメリカ国務省が主催する人物交流プログラムのひとつ。研究者やジャーナリストを対象とした、フルブライト奨学金も、この人物交流プログラムの一部。正式には、インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラムといい、対象者は専門家や社会人。政治・経済・文化等、各分野のリーダーが3週間、米国に招聘され、それぞれの専門分野に関連する団体の訪問などの研修を受けることができる。詳細は、以下のサイトを参照。  
<http://americancenterjapan.com/exchange/>



カリフォルニア州サンディエゴの米墨国境付近で移民問題について説明を受ける金光敏さん(写真中央)

### 都市共生社会研究分野とは？

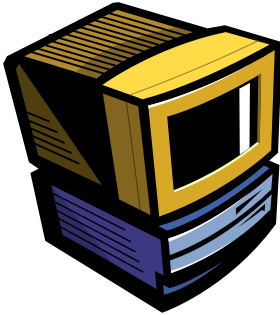
2003年4月に開設された社会人向け大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の分野のひとつ。NPOをツールに共生社会の形成を目指す人材を育成することをミッションに掲げて、共生社会に関する様々な課題と、それらに解決に向けNPOのマネジメント含め、実践的な教育研究活動を展開している。

### お問い合わせ

大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野

URL: <http://www.gscc.osaka-cu.ac.jp/>, E-mail: [kashiwagi@gscc.osaka-cu.ac.jp](mailto:kashiwagi@gscc.osaka-cu.ac.jp)

Hiroshi Kashiwagi



図や写真の説明を記入します。

## 記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製

品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

「印象に残るような文章を読者の目を引くよう、記事の中から選びここに記入します。」

## 記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。



図や写真の説明を記入します。

## 記事の見出し

ここに記載する記事は370文字から500文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

## 記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

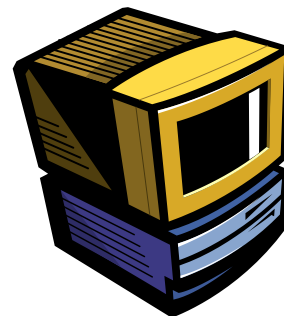
ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製

品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

ニュースレターに載せる記事は、そのままホームページにすることもできます。Microsoft Publisher には、ニュースレターをホームページに簡単に変換する機能が用意されています。



図や写真の説明を記入します。

## 記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

「印象に残るような文章を読者の目を引くよう、記事の中から選びここに記入します。」

## 記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。



図や写真の説明を記入します。



大阪市立大学大学院経済学系  
Present

ビジネス1の住所

住所2行目

電話 00(5555)5555

FAX 00(5555)5555

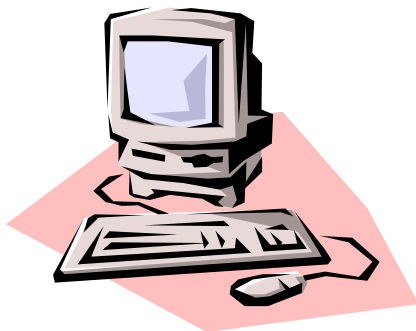
Email: someone@example.com

ここには会社の業務内容、モットー、社歴などについて紹介する文章を記入します。取り扱っている製品やサービスのリスト、主催するイベントのリスト、支店の所在地、これまで取り引きがあった顧客や会員にどんな人がいるかなどを紹介するのもよいでしょう。

問い合わせを受け付ける電話番号を明記しておくことで読者が会社についてもっと詳しく知りたいときどこに問い合わせたらよいかすぐに分かるので便利です。

ホームページもご覧ください。  
[example.microsoft.com](http://example.microsoft.com)

キャッチコピーを入力します



図や写真の説明を記入します。

## 記事の見出し

ここに記載する記事は370文字から500文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。